

令和8年度 第1回中井町学校運営協議会会議録

○日 時：令和8年4月24日（金）18：00～

○場 所：中井町農村環境改善センター 2階 研修室

○出席者：学校運営協議会委員、教育長、教育課長、生涯学習課長、
各学校事務局（教頭、担当教員）

I 学校運営協議会（18:00～18:35） 司会・進行 教頭（今年度事務局）

1 教育長あいさつ（教育長）

- 中井町でのコミュニティ・スクール導入から5年目を迎え、委員の視点が各学校から「町全体の教育」へと変化してきた。
- 今年度より、学校運営協議会のメンバーを中心に、教育委員を交えた新たな組織で、将来の中井町の学校のあり方についての検討をスタートさせる。ぜひ、こちらもご協力いただきたい。
- 令和7年度末に中井教育ビジョンを策定した。「里都まち教育」をコンセプトとし、生涯学習や学校教育を通じて人と町が繋がることを目指す。
- 昨年度の第4回学校運営協議会では「どんな子どもを育てたいか」というテーマで熟議を行った。その結果をまとめ、分析したものを今後の指導や学校運営の参考にする。

2 委嘱状交付（机上配付）

3 学校運営協議会委員自己紹介

4 会長・副会長の選出

推薦、立候補がないため、事務局より人選を提案

会長 中村小学校部会 様

副会長 井ノ口小学校部会 様

5 協議（議長：梅橋副会長）※会長が欠席のため、副会長が議長として議事進行。

○ 学校運営協議会の位置づけについて説明（指導主事）

（1）学校運営方針の説明及び承認

【中村小学校（校長）】

- 「自ら学び、心豊かでたくましく、ふるさとに誇りをもつ子の育成」を学校教育目標に掲げている。
- 「挨拶・ありがとう・大丈夫」を合言葉に、具体的なアクションを重視。この3つの言葉を自ら発信することで自分を輝かせ、仲間との繋がりを強固にすることを目指している。
- 校長からのトップダウンではなく、現場の教員が主体となって「ブッククエスト（読

書推進)」や「マナビバ（授業改善）」などの活動をボトムアップで企画・実行している。

【井ノ口小学校（校長）】

- 子供たちが「自分には良いところがある」「自分たちで学校を作っている」と実感できるような、主体的で自己肯定感の高まる学校づくりを目指す。
- 学んだことを誰かに伝える表現力（アウトプット）の向上を図り、ICTを活用しながら地域住民や自然と関わる学習を意図的に取り入れていく。
- 異学年交流（なかよし班活動）や、子供たちが自ら企画・運営する「井ノロフェスタ」などを通じて、試行錯誤しながら自己有用感を高める取り組みを今年も行っていく。

【中井中学校（校長）】

- 昨年度実施した全校生徒との校長面談のなかで、「他学年ともっと交流したい」という要望が多かったことを反映し、今年度から「受け取り つながりあって 考え 判断し 行動しよう」という、繋がりを強調したスローガンを掲げた。
- 異学年交流だけでなく、町内の園・小学校・そして地域とのつながりにも力を入れて行きたい。
- 「トライ&チャレンジ ネクストステージ」を合言葉に、失敗を恐れずにまずはやってみる勇気を持ち、その挑戦を互いに認め合う温かな関係性の中で、生徒が次の段階（ネクストステージ）へ進むことを支援していく。

【質疑応答】

○現在の道徳教育について、どのような授業がおこなれているのか

- ➡（中村小学校長）教科書の内容を一方的に教えるのではなく、子供同士が対話し葛藤する「考え、議論する道徳」を実践している。

○公簿・会計管理に関する記載があることについて

- ➡（中井中学校長）例年通り厳正な体制を維持していく

(2) その他

特になし

6 連絡事項

- 学校部会について

（この後、学校ごとに分かれて、学校部会を開催）